

多文化共生ソーシャルワーク研修

外国籍住民への支援のあり方を考える <第 13 回>

埼玉県内には多くの外国籍住民が居住し「多文化共生」の内実を深めていくことが課題となっています。また、2019 年 4 月からは外国人労働者の本格的導入が開始され、入管法も改定される中で、埼玉県内における在住外国人の暮らしや教育を支える土壌作り、県内のネットワーク形成が一層、大切な課題となると痛感しています。

今回の研修会には長年、日本における外国籍ゆかりの方々に寄り添い、彼らと我々が共に生きる方向性を一貫して提示されてきた田中宏氏をお招きし、お話を伺います。

1. 日 程 2020年1月18日(土) 午後1時30分~4時30分
※受付は1時10分からです。
2. 場 所 カルタスホール
3. 受講対象者 多文化共生社会に関心のある方々、国際協力・交流・外国人支援団体、NPO等関係者、自治体職員、社会福祉士会会員等福祉・医療従事者
4. 会 費 1000円(学生と埼玉県社会福祉士会会員は500円)
5. 定 員 80名
6. 参加申込 裏面参照

<研修プログラム>

1:30~1:35	開会挨拶 当委員会委員長 松山朋恵氏
1:35~3:05	講演 「在住外国人と共に生きる、とはなんだろうか」 一橋大学名誉教授 田中宏氏
3:05~3:20	休憩
3:20~4:50	グループ討議(講演を踏まえて)及び発表 コーディネーター及び講評 門 美由紀氏(当会前委員長) チューター 多文化共生ソーシャルワーク委員会メンバー

田中宏氏プロフィール

一橋大学大学院修了。アジア学生文化協会に勤務した後、今日まで、一貫して外国人に対する日本社会の「法の壁、心の溝」に警鐘を鳴らし、日本・アジア関係史等を発信し続けてきた。著書：『在日外国人第三版(岩波新書)』『「共生」を求めて 在日とともに歩んだ半世紀(解放出版社、2019)』他多数

一橋大学名誉教授、公益財団法人世界人権問題研究センター研究員。

主催：公益社団法人埼玉県社会福祉士会
後援：公益財団法人埼玉県国際交流協会
埼玉弁護士会(予定)